



第105回全国高校野球選手権大会

19日に行われる全国高校野球選手権大会の準々決勝で、ベスト4入りを懸けて対戦する八学光星(青森)と土浦日大(茨城)。

八学光星の仲井崇基監督と土浦日大の小宮勲監督に、チームの状態や相手の印象などを聞いた。

光星 きょう土浦日大戦



4強進出するか



準々決勝に備え、打撃練習に力を入れる八学光星ナイン=18日、兵庫県西宮市

第105回全国高校野球選手権大会の出場している青森代表の八学光星は19日の準々決勝で、0-1で茨城1年ぶりの4強入りを目指して土浦日大(茨城)と対戦する。八学光星ナインは休養日の18日、兵庫県西宮市内の球場で練習を中心に行い、大事な一戦に向けて準備した。(千葉達也、福岡聡)



光星・仲井監督

集中して総力戦でいく

チームの状態を十分にインフォームルする。八学光星の仲井崇基監督(右)は兵庫県西宮市で記者会見を行った。仲井監督は、選手たちの集中力を高め、総力戦で臨むことを目指している。

先発投手の出来が鍵 土浦日大一光星

第12日の見どころ

【準々決勝】
▷第2試合(10時35分)
土浦日大(茨城)ー八学光星
攻守に盤石な戦いを見せる八学光星と、3回戦の逆転劇で勢いに乗る土浦日大(茨城)の一戦。両チームとも打線は好調を維持しており、先発投手の調子が試合展開を左右しそうだ。

を待ちたい。慶応は丸田、勝負強い延末を軸に切れ目が無い。3回戦では広島(広島)の好投手から延長戦を含め6点を奪い、2戦で20安打。2年生コースの小宅がどれだけ失点を抑えられるかがポイント。
▷第3試合(13時10分)
神村学園(鹿児島)ーおかもやま山陽(岡山)
神村学園は3試合全てで2桁得点と打撃が好調。主砲の正林や打率6割超の上川らを軸に好機を量産。おかもやま山陽は井川、三宅らの継投で強力打線に対抗する。3試合で計7失点と粘り強い守りを生かし、接戦で持ち込みは勝機は広がる。攻撃では1番田内、3番渡辺の働きが鍵を握りそうだ。